

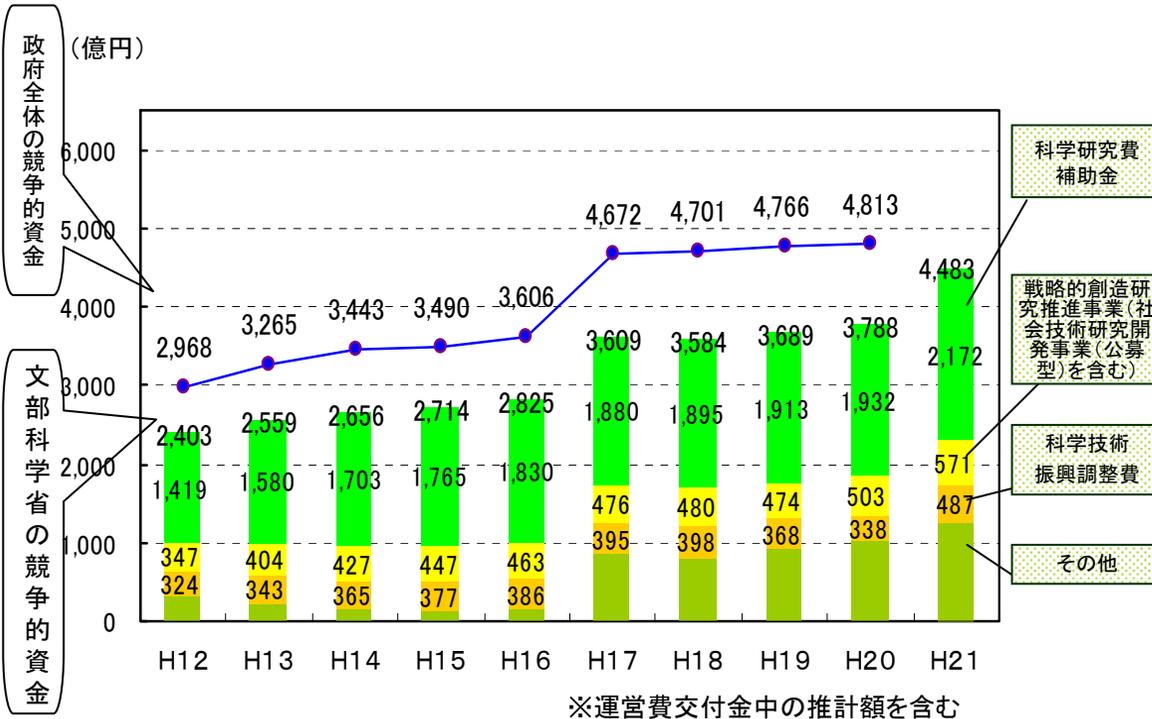
審議課題4 關係資料

文部科学省の競争的資金

平成21年度概算要求額 448,265百万円
(平成20年度予算額 378,819百万円)

研究者の研究費の選択の幅と自由度を拡大し、競争的な研究開発環境の形成に貢献するとともに、イノベーションの種となる多様な基礎研究を推進する科学研究費補助金等の競争的資金の拡充を図り、研究開発の推進とイノベーションの創出を図る。

文部科学省の競争的資金の推移



文部科学省の競争的資金の一覧

○は文部科学省、◆はJSTの運営費交付金

	平成21年度概算要求額	平成20年度予算額
科学研究費補助金	2,172	(1,932)
戦略的創造研究推進事業	571	(503)
うち戦略的創造研究事業	550(内)	(488)内
うち社会技術研究開発事業(公募型)	22(内)	(15)内
科学技術振興調整費	487	(338)
(革新技術推進費を含む)	140(内)	(新規)内
グローバルCOEプログラム	345	(340)
世界トップレベル研究拠点プログラム	71	(71)
キーテクノロジー研究開発の推進	308	(193)
地球観測システム構築推進プラン	6	(4)
原子力システム研究開発事業	58	(59)
政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業	2	(1)
人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業	8	(4)
海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム	8	(4)
原子力基礎基盤戦略イニシアティブ	10	(5)
先端計測分析技術・機器開発事業	70	(55)
独創的シーズ展開事業	70	(81)
産学共同シーズイノベーション化事業	19	(22)
重点地域研究開発推進プログラム	113	(94)
地域結集型研究開発プログラム等	25	(29)
地球規模課題対応国際科学技術協力事業	13	(5)
【新規】		
ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	10	(新規)
地域卓越研究者戦略的結集プログラム	19	(新規)
戦略的国際共同研究事業	15	(新規)
研究成果最適展開支援事業	50	(新規)
戦略的イノベーション創出推進事業	28	(新規)
若手研究者ベンチャー創出推進事業	6	(新規)

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」(平成19年2月15日大臣決定)などを踏まえて、研究費の管理・監査体制の整備を進める。研究費の効果的・効率的配分に向けて、「府省共通研究開発管理システム」(e-Rad)を運用。

グローバルCOEプログラム
《研究拠点形成費等補助金(研究拠点形成費)》
申請書

＜拠点形成計画調書(様式2-1)、(様式2-2) (抜粋)＞

1. 拠点のこれまでの教育研究活動

・人材育成の現状と実績

2. 拠点形成の目的・必要性、期待される効果

①-2 (略) 拠点としてどのような人材育成や研究活動を行うのか、…(略)

5. 人材育成の計画

① 人材育成の具体的な達成目標について記入してください。

② ①の人材育成をするために具体的な教育計画について記入してください。

・人材育成のために必要な指導体制(研究指導体制、**キャリアパス形成に対する支援体制**など)、教育プログラム等

グローバルCOEプログラム 審査要項

<審査方針(抜粋)>

○審査は、大学からの申請に基づき、拠点規模の大小にとらわれず、計画の将来性、発展性を重視し、実現性の面から教育研究活動の実績も加味しながら、人材育成、拠点性、国際性の観点から審査を行うものとする。

COEプログラム採択拠点に所属する大学院生の声

COE拠点での教育研究を通じて得られる一流の研究者等との交流、海外留学・学会発表、リサーチアシスタント雇用、教育研究環境の国際化・充実等の経験が、研究への更なる興味・関心、幅広い視野や研究者としての自立心等を涵養する刺激になっているとの声が挙がっている。

一流の研究者等との交流

海外から研究者を招聘して行うセミナーは、研究者に気軽に質問でき、研究面でも刺激を受ける上、経験談等を通じてアドバイスをもらえる貴重な機会。

講演会等を通じて論文を読んで面白いと思った著名な研究者と交流する機会が増え、世界がすぐそこにあることを感じる。

COEワークショップや輪講での交流を通じて、他研究室と連携する雰囲気生まれ、自身の研究を客観視する良い機会になった。

海外留学・学会発表

国際学会に参加するための渡航費や滞在費を負担してもらえるので積極的に参加でき、異分野の先生方との交流を通じて、興味・関心が広がった。

海外活動支援等のCOEの教育システムは学生がアクティブに動くのを支えてくれる。

海外留学を通じて、語学力等のコミュニケーション能力、アピール能力の必要性を感じた。

国内外学会での発表経験を通じて、自身の研究に責任を持ち自立した研究者としての意識が高まった。

リサーチアシスタント

(研究補助者として働き経済的援助を受けるもの)

経済的な支援をしてもらえるので、生活費や専門書等の高価な本代の支援になる。

研究に責任感とやりがい生まれ、研究に向かう意識が変わった。

雇用申請から結果報告までのプロセスは、自身の研究の独自性と意義を他人に伝える力を培う機会であり、独立した研究者としての意識が大きくなった。

教育研究環境の国際化・充実

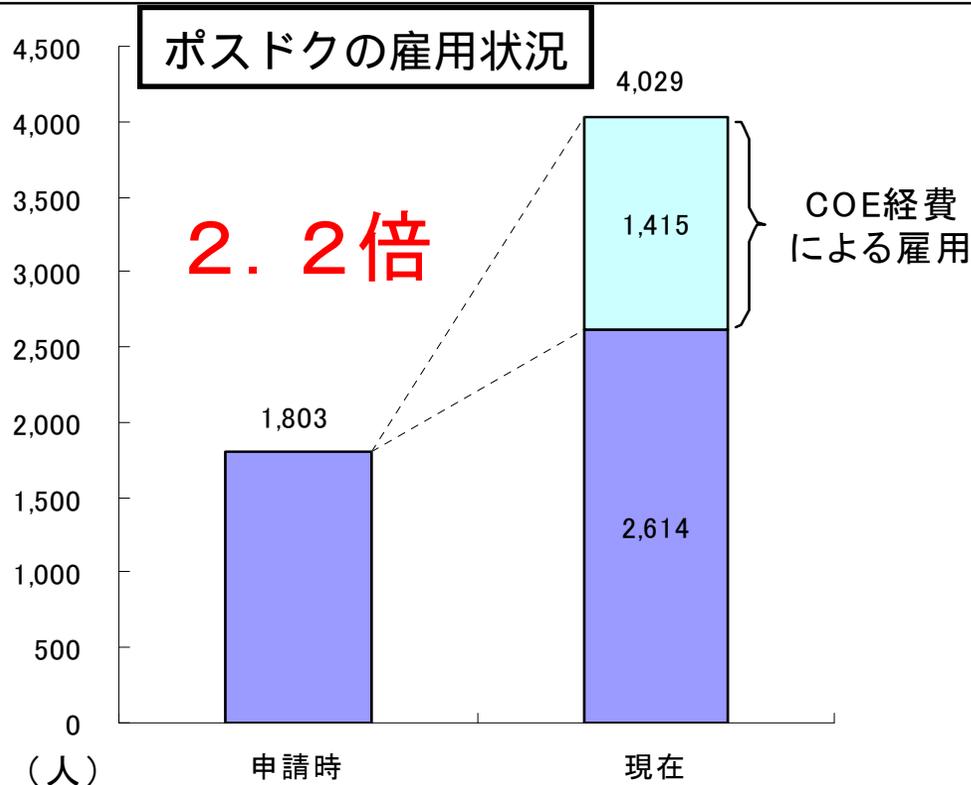
日常的な研究発表やディスカッションを英語で実施しているほか、英会話スクールでの語学力養成や英語による論文指導など語学力向上の取組を行っている。

装置は一人一台使用でき、自分のスタイルで研究に取組むことができる。

費用が必要な海外調査に行くことができ、調査で仮説を検証することが可能になる。

COEプログラムの成果（外国人等ポスドク、RAの雇用増加）

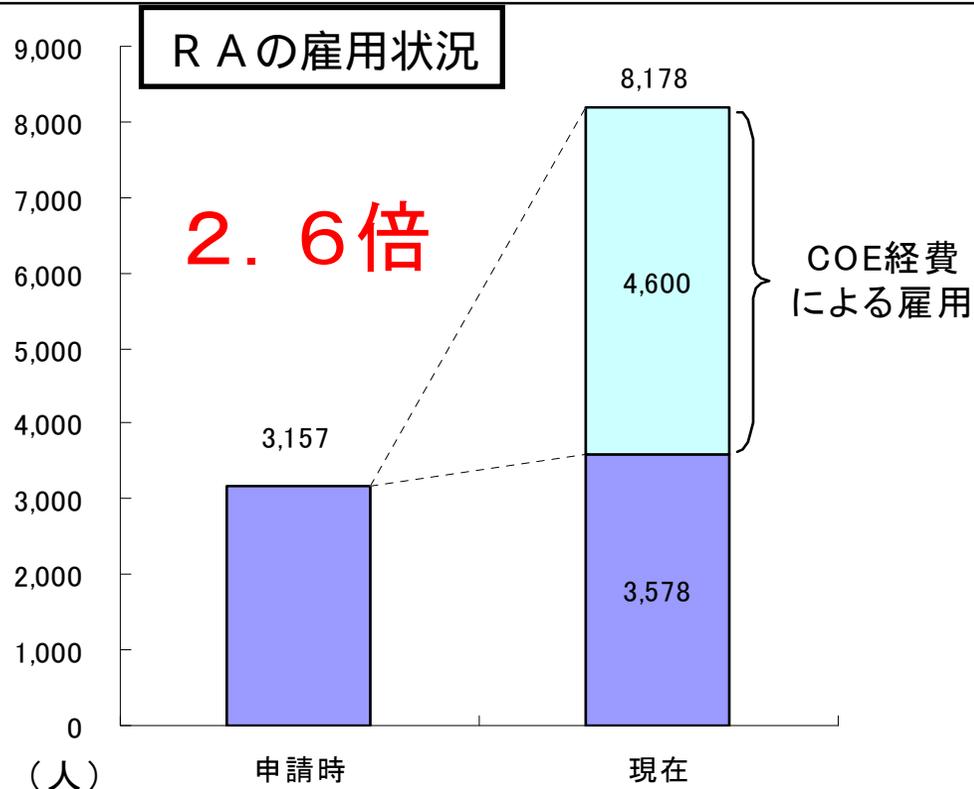
21世紀COEプログラムの採択により、採択前と比較して、ポスドク、RAの雇用が全体として2倍以上に増加。特に、ポスドクでは2.6倍、RAでは2.5倍に外国人が増加するなど、国際化・流動性の向上に貢献。



<うち外国人数>

申請時(1)	現在(2)	伸び率((2)/(1))
312人	813人(348人)	2.6倍

現在の()内は、COE経費による雇用人数



<うち外国人数>

申請時(1)	現在(2)	伸び率((2)/(1))
515人	1,299人(617人)	2.5倍

申請時：採択の前年度の状況 現在：平成16年度の状況

(出典：「21世紀COEプログラムの成果」(平成18年8月文部科学省))

21世紀COEプログラム/グローバルCOEプログラム RA受給額（一月あたり）の比較

21世紀COEプログラム（平成18年度）

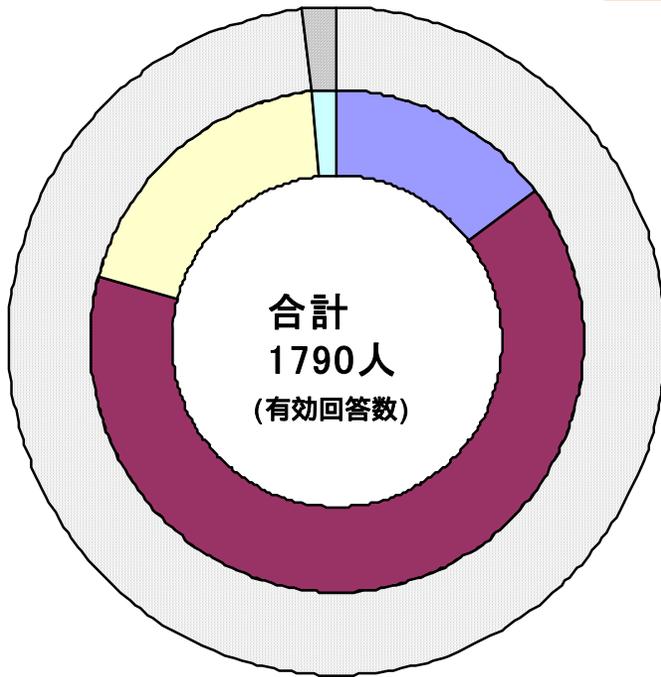
グローバルCOEプログラム（平成19年度）

※平成19年度グローバルCOE採択拠点のみ

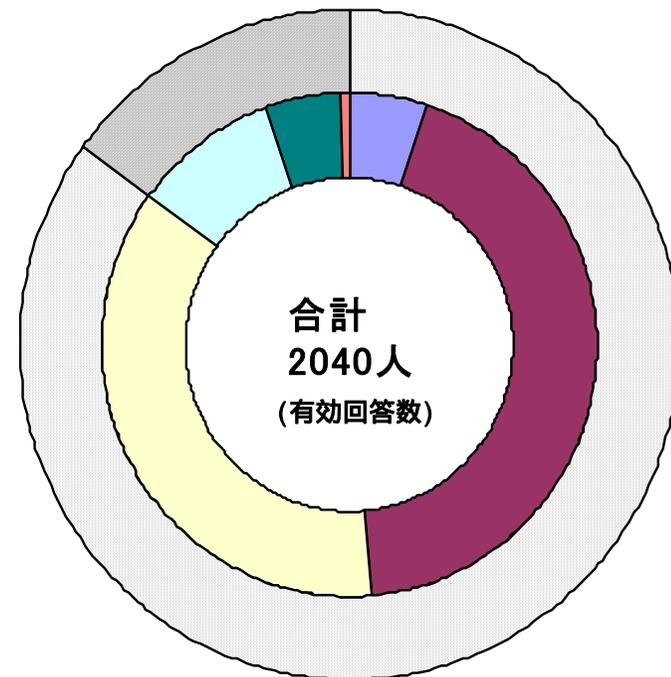
15万円以上受給者
31人; 1.7%

RA等による
経済的支援を奨励

15万円以上受給者
304人; 14.9%



□ 15万円未満
受給者
1759人; 98.3%



□ 15万円未満
受給者
1736人; 85.1%